

# かけはし

岩国市立錦中学校だより 第 10 号

令和元年（2019年）9月25日（水）

<https://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/>

## 全力～こぶしをかかげて燃え上がれ～

校長 秋本 泰宏

9月14日（土）の第45回錦中学校体育祭には、ご家族の方、地域の方をはじめ多くの方に来ていただき、生徒への温かいご声援、ありがとうございました。

さて本年度の体育祭のスローガンは、『全力～こぶしをかかげて燃え上がれ～』でした。このスローガンについて、9月の月頭集会や体育祭の講評で校長としての思いを次のように生徒に語りました。

今年のスローガンの中で一番すてきな言葉は“全力”です。全力とは、自分の持ち出せるすべての力のことをいいます。

そして、さらにすてきだなと思うところは、全力であることは求めているけれども、勝利とか一番とか、結果だけを求めているないということです。ということは、自分は、体育祭に全力で取り組めたかどうかという評価を、自分が決めるのです。

体育祭の中には苦手なもの、例えば自分は人前で声を出してリードするような応援団なんて苦手だなと思う人が応援団になっているかもしれません、あるいは、リズム感がなくダンスは苦手だけれど全員の種目になっているので、しょうがなく踊るという人もいるかもしれません、中には運動そのものが苦手な体育祭なんてなければ良いのにと思う人もいるかもしれません。

でも私は、得意なものだけでなく、そういう苦手なことこそ全力で取り組んでほしいと考えています。それは、全力で取り組んだ先には「おっ意外とできるじゃん」とか「自分もなかなかやるじゃん」とか、新しい自分と出会える可能性があるからです。

新しい自分との出会いは、新しいものへ挑戦するエネルギーやきっかけとなるはずです。体育祭終了後の翌日からの新しいことへ挑戦するみなさんの姿に期待しています。

毎日の練習を終える頃には、体操服はグラウンドの土で汚れ、持ってきた水筒の飲み物は空っぽ、生徒昇降口は37名の汗のおいでで充満…。それでも下校する際の生徒の顔は充実感に満たされ、すてきな笑顔で下校していきました。本番を待つまでもなく、練習でも生徒は全力で体育祭に取り組んだのだと思います。

また、お知らせしたように、本年度の体育祭は、生徒が帽子着用で臨みました。

おかげをもちまして、生徒が重篤な熱中症になることもなく、健康に大会を終えることができました。ご理解・ご協力ありがとうございました。



全校ダンスの決めポーズ

## 第45回体育祭の風景

生徒、教職員、保護者、地域が一体となって、作り上げた体育祭。多くの名場面がありました。下の写真は、ほんの一部です。



入場行進



開会式「選手宣誓」



男子個人「150m走」



女子団体「お先に失礼」



男子団体「タイヤ奪い」



一般「息を合わせて 楽しんで」



一般「綱引き」



生徒会「令和も続くよ体育祭！」



一般「錦町音頭」



選抜選手「部活対抗リレー」



一般「玉入れ」



学年種目「学年対抗」

## 山口県からのお知らせです

山口県教育委員会では、今月、「ふれあい夢通信」ホームページに、「第55号（2019秋号）」を掲載しています。県教育・イベント・読者プレゼント情報などが掲載されています。山口県教育に関する様々な情報が得られますので御一読下さい。

「ふれあい夢通信」ホームページアドレス

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50100/kkt/fureyume.html>

